令和3年10月28日

企業における女性活躍の推進と支援メニューについて

福井県地域戦略部　県民活躍課

目　次

１　福井県における現状と課題
・福井県の女性活躍の状況
・若者の県内定着
２　女性活躍推進が企業にもたらすメリット
３　女性の管理職登用
・女性の管理職への昇任意欲
・福井県庁における取組み
４　企業へのアプローチ
５　男性の家事・育児参加の促進

福井県の女性活躍の現状

福井県は、女性が働きやすい環境が整っている

1位

女性の就業率

順位	都道府県	割合
1位	**福　井　県**	**52.6%**
2位	石　川　県	51.8%
3位	東　京　都	51.6%

全　　国	48.3%

2位

女性の雇用者に占める正社員の割合

順位	都道府県	割合
1位	山　形　県	55.9%
2位	**福　井　県**	**53.9%**
3位	富　山　県	53.7%

全　　国	45.5%

1位

夫婦世帯における共働き割合

順位	都道府県	世帯割合
1位	**福　井　県**	**58.6%**
2位	山　形　県	57.9%
3位	島　根　県	56.5%

全　　国	47.6%

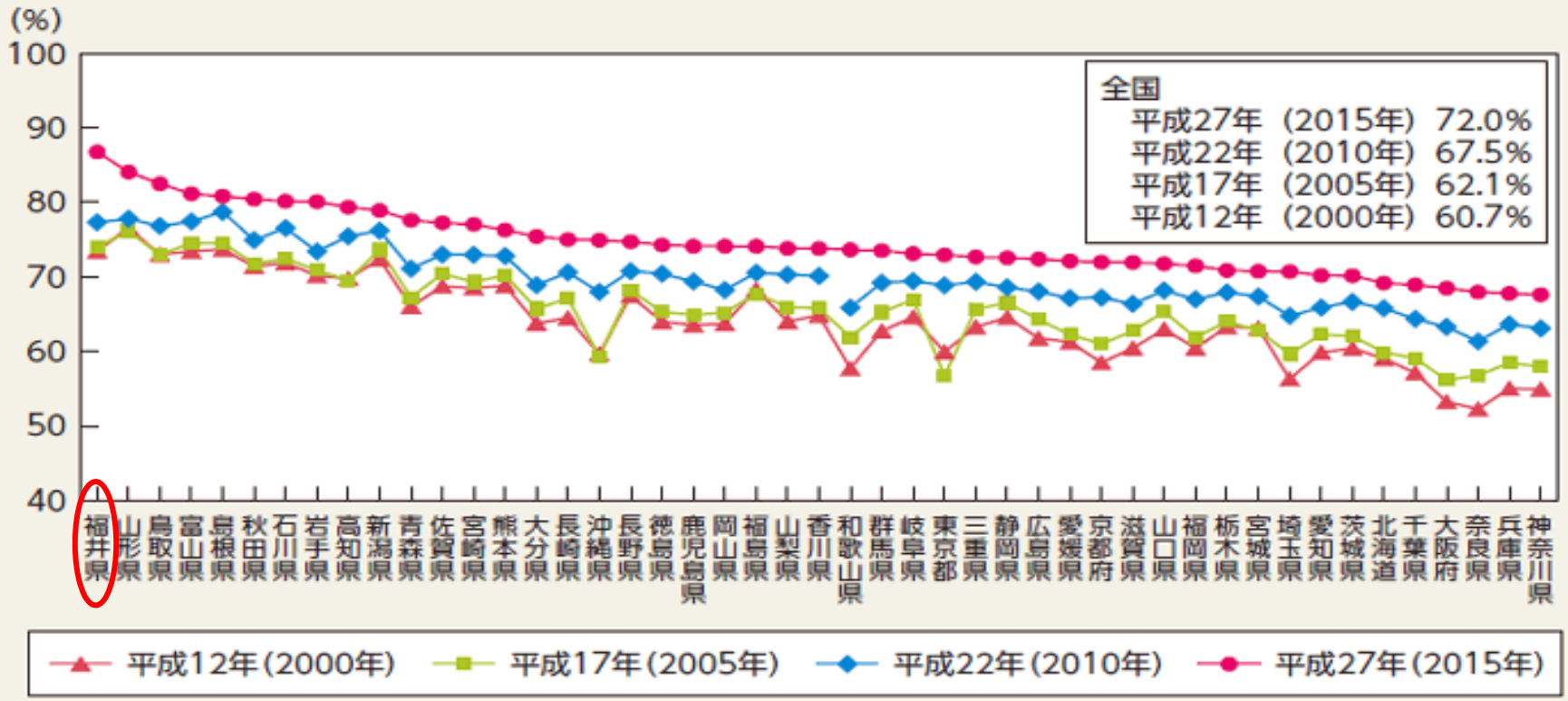
出典：総務省「平成２７年国勢調査」

福井県における現状と課題

子育て世代女性の就業率がトップ

子育て世代に当たる２５～４４歳の女性の就業率が**全国トップ**

Ⅰ－特－４図　都道府県別　女性の就業率（25～44歳）の推移



（備考）１．総務省「国勢調査」より作成。平成27年は抽出速報集計の数値。
２．平成12，17年は就業状態不詳を含む総数から，22，27年は不詳を除いた総数から就業率を算出。

出典：平成29年版 男女共同参画白書（内閣府）

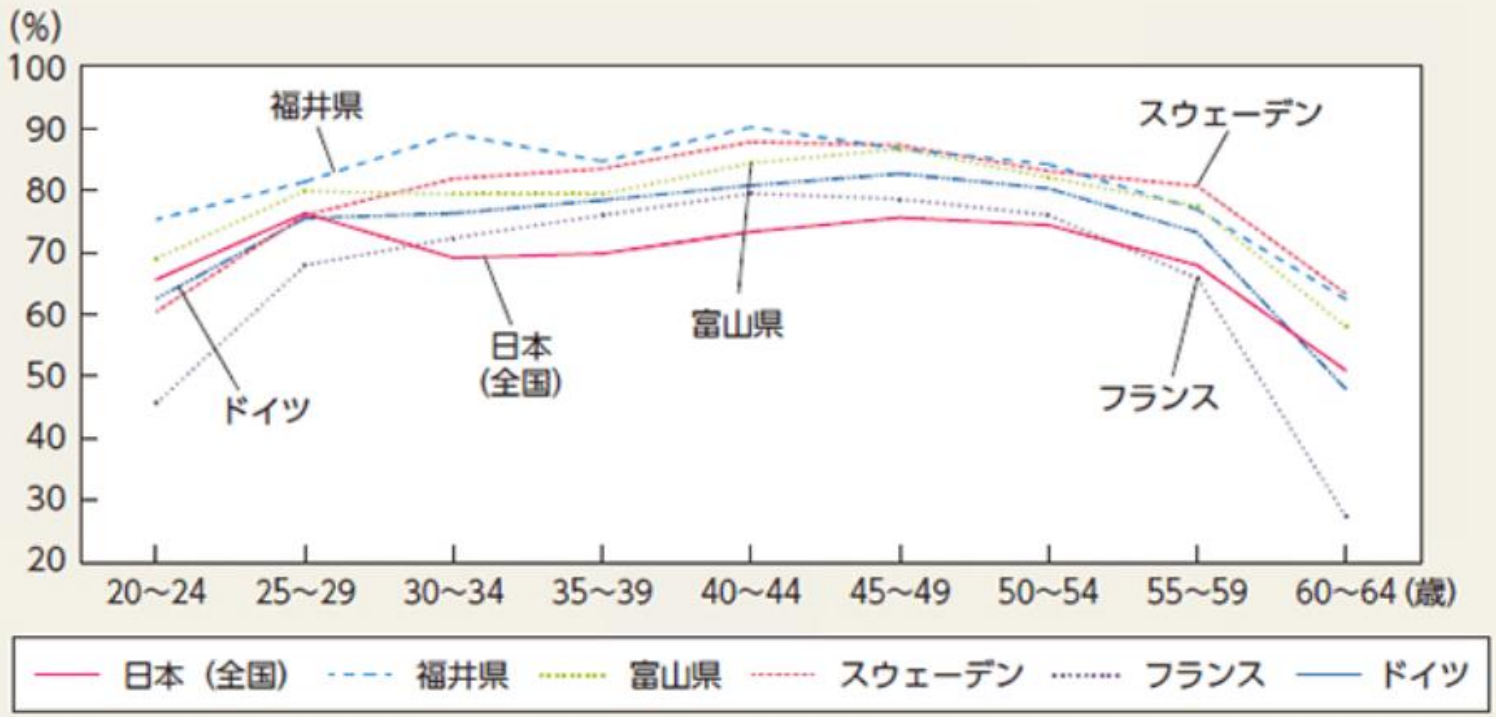
福井県における現状と課題

「M字カーブ」問題を克服した県

平成29年度の男女共同参画白書

福井県は、いわゆるM字カーブの窪みがないとされる欧州諸国（スウェーデン、ドイツ、フランス）と比べても高い水準にあり、**M字カーブ問題を既に克服した県**として紹介

Ⅰ－特－５図　欧州各国と福井県・富山県との女性の年齢階級別就業率の比較（平成27年）



（備考）日本は，総務省「国勢調査（抽出速報集計）」（平成27年），その他の国は，ILO“ILOSTAT”より作成。

資料出所：平成29年版 男女共同参画白書（内閣府）

福井県における現状と課題

女性が働きやすい要因

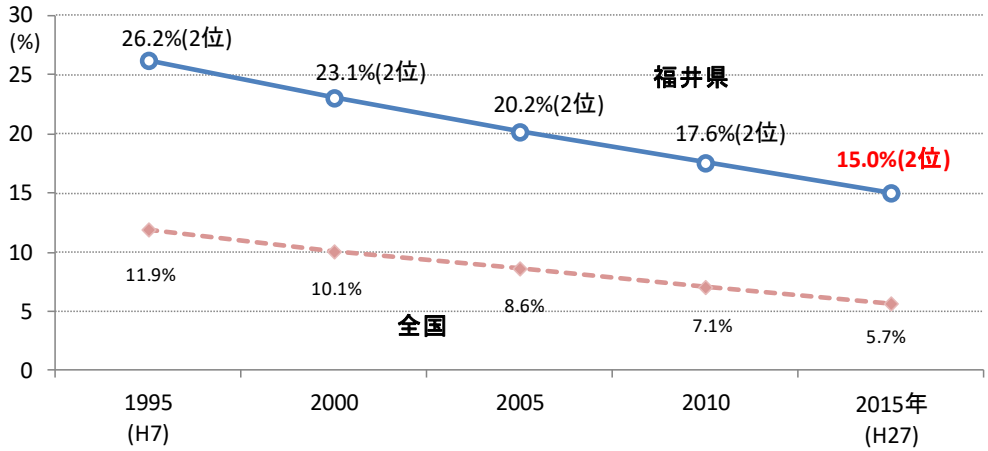
○ 3世代同居率の高さ

三世代同居世帯の割合

全国2位

順位	都道府県	世帯割合
1位	山　形　県	17．8%
2位	**福　井　県**	**15．0%**
3位	新　潟　県	13．8%
4位	秋　田　県	13．4%
5位	富　山　県	13．2%
全　　国		5．7%

（三世代同居率の推移）



出典：総務省「平成２７年国勢調査」

福井県における現状と課題

女性が働きやすい要因

○ 3世代同居・近居で子育てする世帯が多い

世帯の状況		割　合
3世代同居	同じ家屋内（2世帯住宅など）	38．1％
3世代近居	同じ敷地内の別家屋	9．4％
	車で15分未満の範囲	33．6％
	車で15～30分以内の範囲	9．6％
	住んでいない（30分以上）	8．6％
	無回答	0．7％

90．7％

出典：幼児教育実態調査（Ｈ２４．１月）

同居・近居する祖父母の協力を得た子育てがもたらす良い影響

→　女性の就業率が高まる

→　孫育てが高齢者の元気にもつながる

→　子どもの学力・体力の向上　など

福井県における現状と課題

女性が働きやすい要因

○ 待機児童がいない

令和2年4月1日現在

全国待機児童マップ

（都道府県）

注：指定都市・中核市は含まない

順位	都道府県	待機児童数
1位	東　京　都	2,318人
2位	沖　縄　県	1,212人
3位	福　岡　県	1,119人
4位	埼　玉　県	637人
5位	千　葉　県	636人

37位※	福　井　県	0人

※福井県のほか10県が待機児童数0人

資料出所：厚生労働省「保育所関連状況取りまとめ」

○子育て支援が充実

第2子の子ども（小学校就学前）に係る保育料など※を無償化
子ども医療費の窓口無料化（県で中学3年生まで無料）など

※保育所、幼稚園の保育料、一時預かりサービスの利用料、病児保育の利用料

福井県における課題

福井県の女性は、仕事において意思決定を行うポストに携われていない

H27 女性の管理職割合

順位	都道府県	正規の職員・従業員の割合
45位	千　葉　県	13.9%
46位	**福　井　県**	**13.6%**
47位	長　野　県	13.5%

全　　国	16.4%

ワースト2位

	H2	H7	H12	H17	H22
福井県	7.51	8.25	8.89	9.38	11.73
全　国	9.25	9.83	11.18	11.92	13.98

出典：総務省「平成２７年国勢調査」

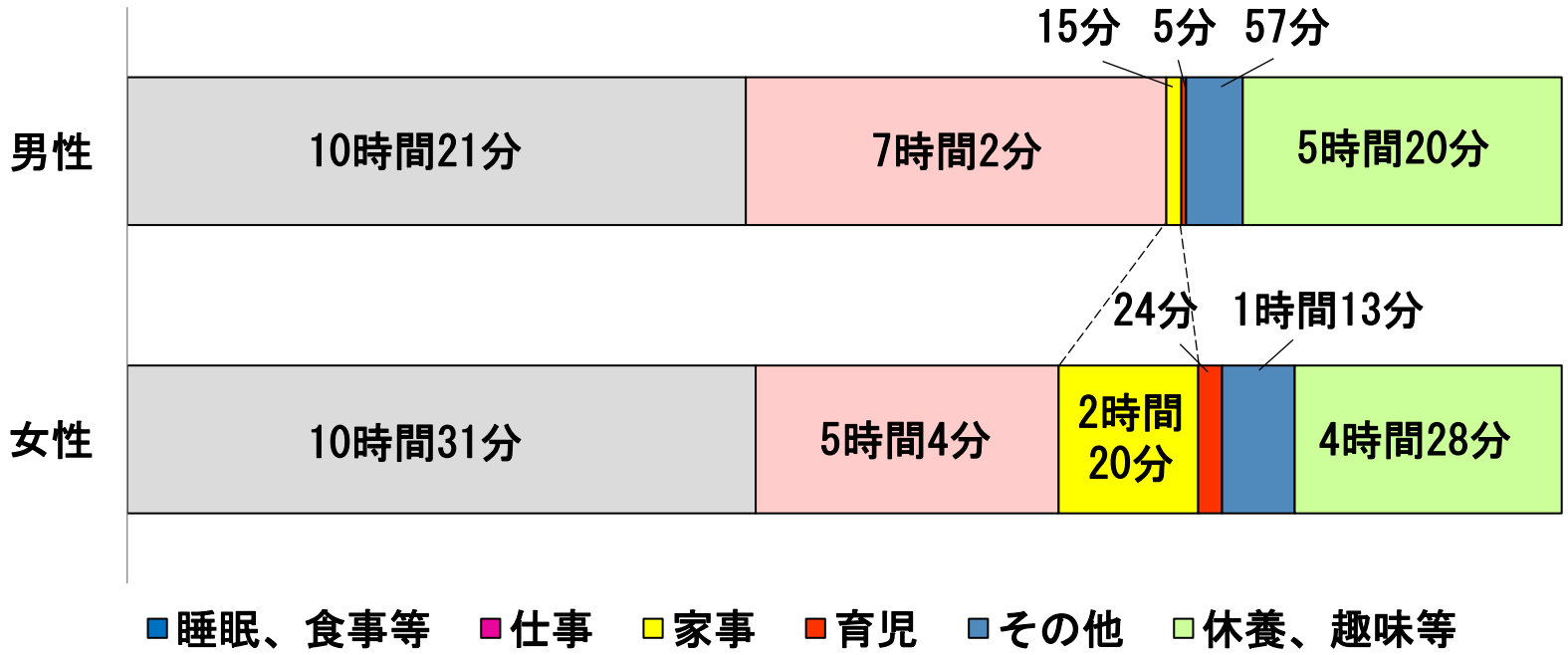
福井県における現状と課題

福井県における課題

・女性は、**仕事や家事の時間が長く**（全国３位）、**ゆとりの時間は少ない**（全国45位）

・女性の家事時間（2時間20分）は、男性（15分）よりも極端に長い

福井県の男性、女性の１日（有業者の週平均）



出典：総務省「平成２８年度社会生活基本調査」

福井県における現状と課題

福井県における課題

若者の県内定着

○男性のUターン者

	高校（18歳）	大学（19歳）	社会人（23歳）	県内定着率
２０年前に就職	6,500人	△1,300人	300人	【2割】
１０年前に就職	5,200人	△1,500人	200人	【1割】
直近に就職	4,600人	△1,400人	400人	【3割】

県外流出　Uターン

男性

回復傾向

○女性のUターン者

	高校（18歳）	大学（19歳）	社会人（23歳）	県内定着率
２０年前に就職	6,300人	△1,600人	700人	【4割】
１０年前に就職	4,900人	△1,300人	300人	【2割】
直近に就職	4,300人	△1,200人	200人	【2割】

県外流出　Uターン

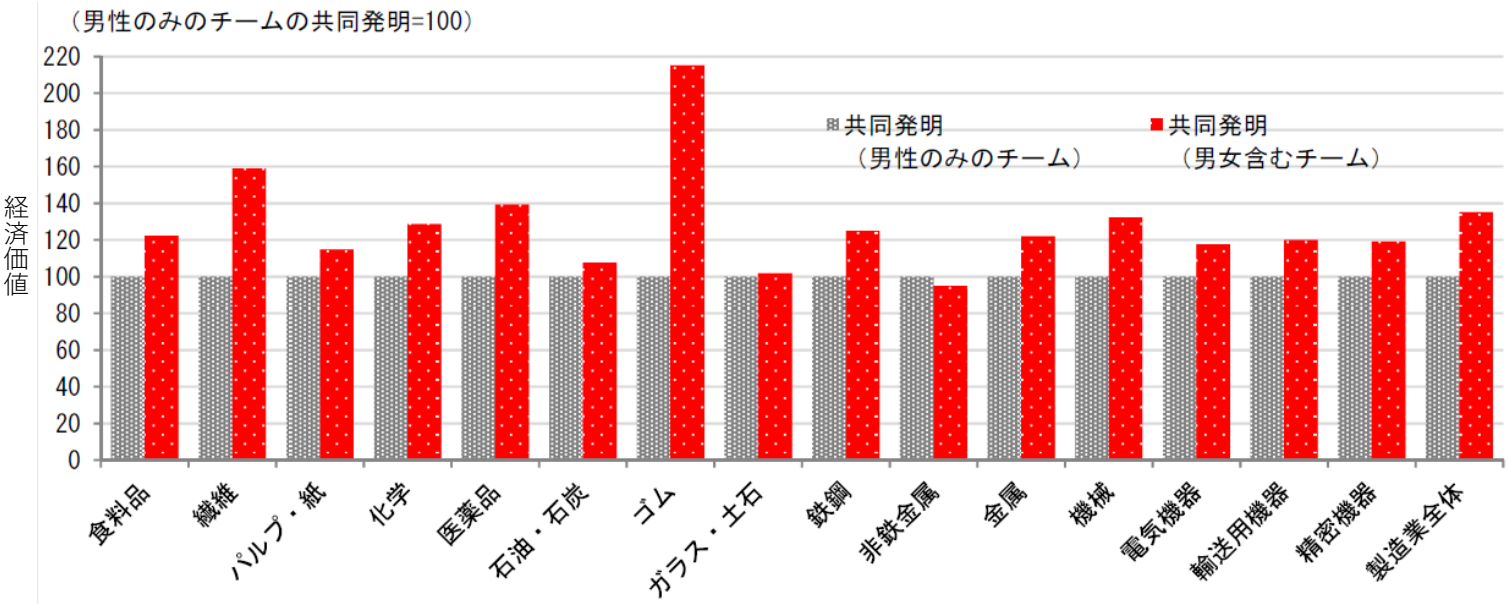
女性

減少傾向

H27までの国勢調査をもとに福井県が推計

女性活躍推進が経営にもたらすメリット

男性のみのチームと男女含むチームとの特許の経済価値比較

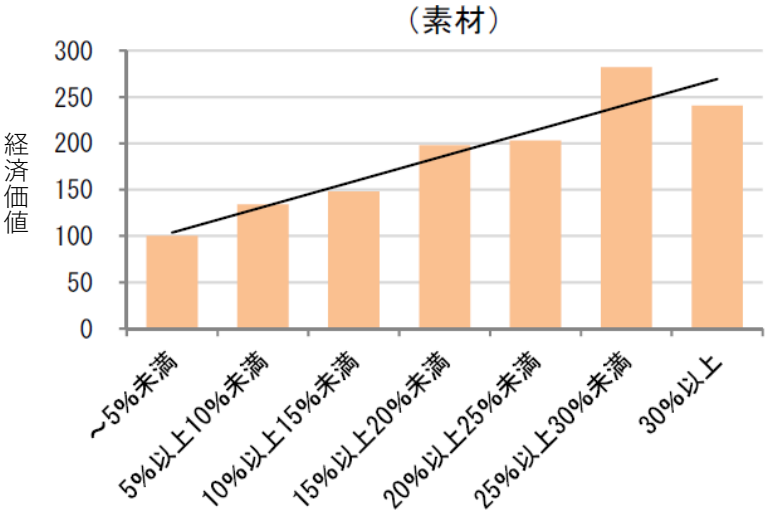


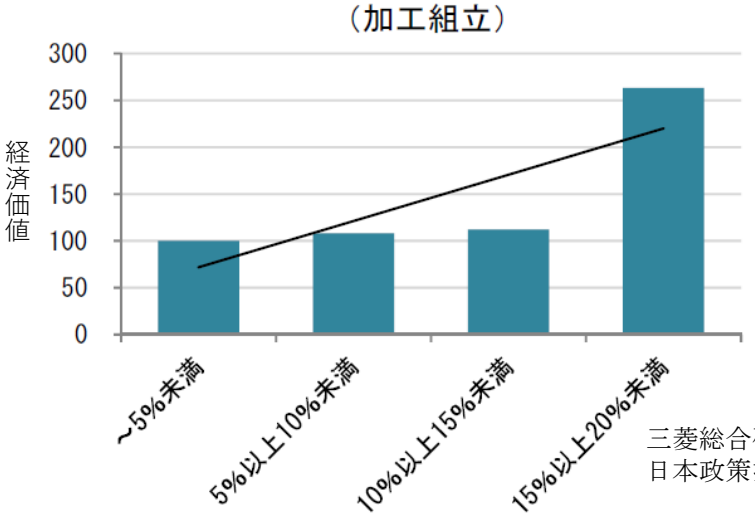
女性の発明者 増

特許の経済価値 高

女性の活躍度と男性のみのチームの特許の経済価値比較

（特許数に占める女性発明者が関わっている特許数の割合が５％未満の企業の男性のみのチームの特許の経済価値=100）





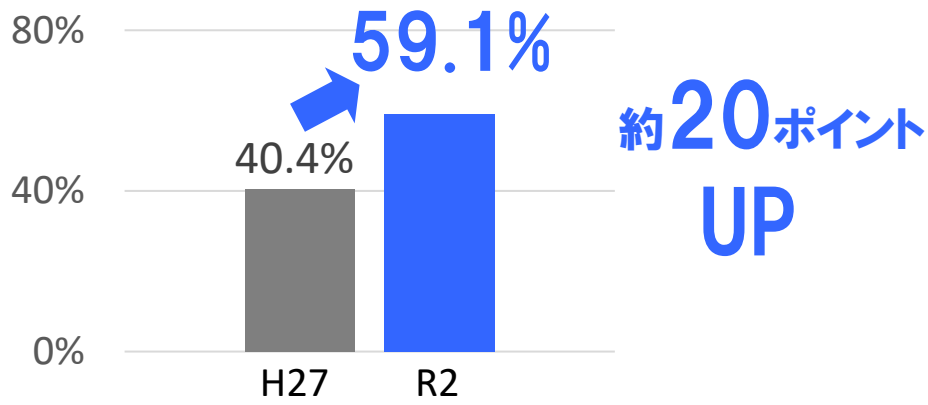
特許の経済価値
企業価値（時価・簿価）から算出した特許資産の経済価値、特許の重要性や第三者からの注目度などから三菱総合研究所が試算

三菱総合研究所「知的分析支援サービス」によって日本政策投資銀行が作成

女性活躍推進が経営にもたらすメリット

県内企業アンケート調査結果（福井県調査 R2調査対象2,000社）

女性活躍に取組む企業の割合



（取組み例）
1位　女性の積極的な採用
2位　研修などスキルアップの機会を設ける
3位　女性の勤続年数の伸長

女性活躍に係る取組みの成果

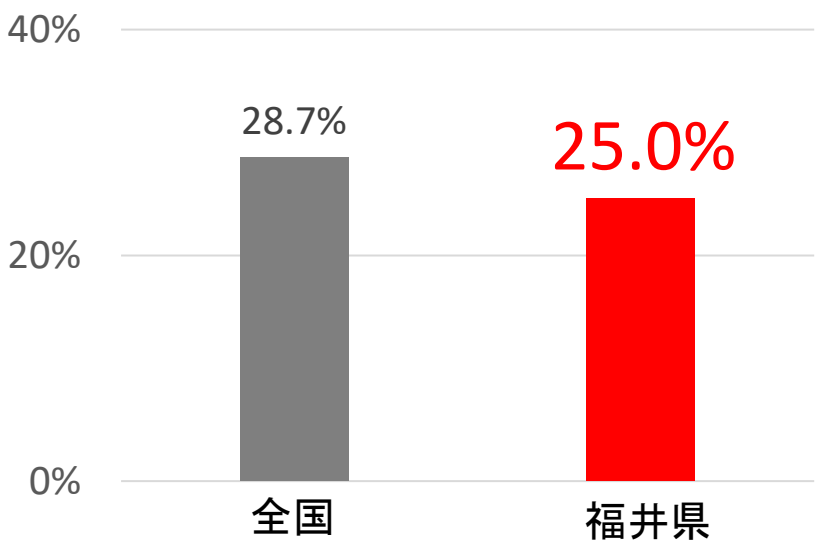
H27		R2		順位
1位	職場の活性化	1位	職場の活性化	⇨
2位	職場の雰囲気改善	2位	職場の雰囲気改善	⇨
3位	女性の勤続年数の伸長	**3位**	**優秀な人材確保**	➡
4位	女性のモチベーション向上	4位	女性の勤続年数の伸長	⇨
4位	優秀な人材確保	5位	女性のモチベーション向上	⇨

女性の管理職への昇任意欲

ダイバーシティ推進状況調査結果（21世紀職業財団 R2調査）

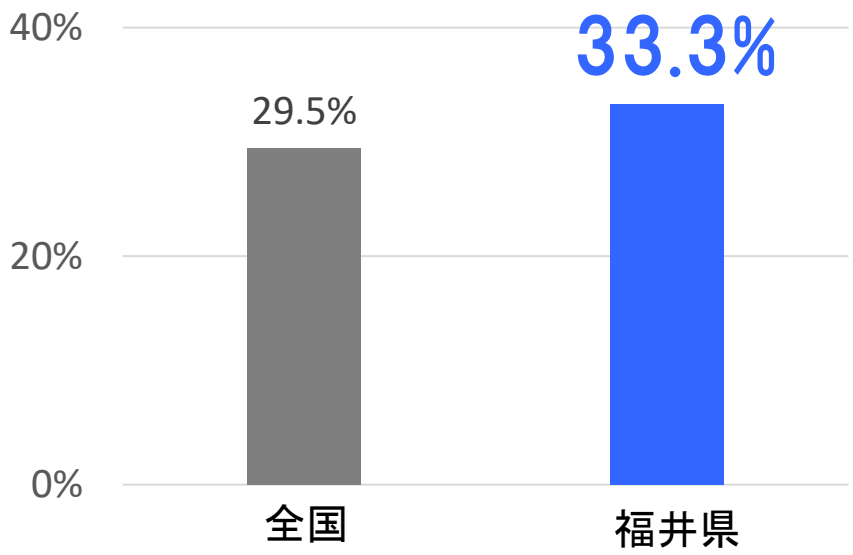
問）あなたは管理職になれる可能性があるか

可能性がある ▶ **全国より低い**



問）管理職になりたいか

なりたい・推薦されればなりたい ▶ **全国より高い**

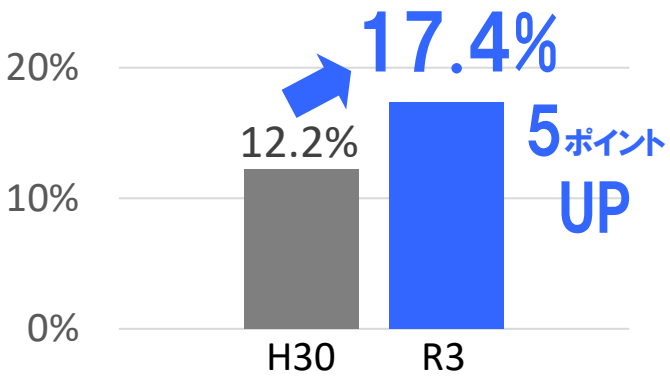


⇨ **管理職昇任意欲を持った女性社員の活躍する職場づくりが必要**

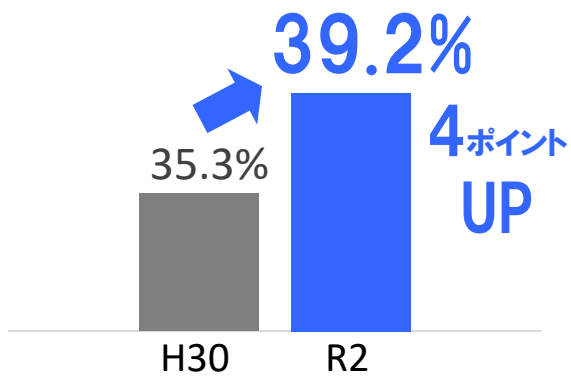
福井県庁における取組み

県庁の組織改革・働き方改革等

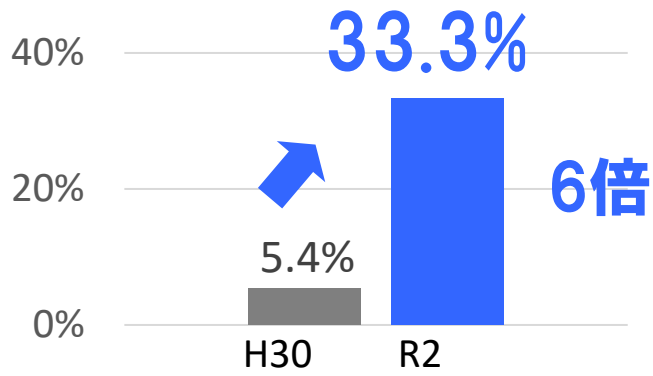
女性の管理職割合



県審議会の女性登用率



男性の育休取得率



※男性の育休取得者のうち、
８割は１か月以上取得

県庁における女性登用等の効果

・女性は限られた時間の中で合理的に仕事をする → **組織全体に合理的な働き方が浸透**

・女性が働きやすい職場 → **男性にとっても働きやすい職場**

企業へのアプローチ

「ふくい女性活躍推進企業」

登録企業 302 社
（R3.10月）

登録区分　❶ふくい女性活躍推進企業　❷ふくい女性活躍推進企業プラス＋

要件

[ふくい女性活躍推進企業]

❶ 女性の活躍推進に向けた**経営トップ**（代表者）**の考えが宣言**されていること

❷ **女性活躍推進員**を配置していること

❸ **「女性の採用」「女性の育成」「男女がともに働きやすい職場環境づくり」「女性の登用」**について具体的な取組を進めていること

[ふくい女性活躍推進企業プラス+]

❹ 上記❶～❸に加え、女性活躍推進法に基づく**「事業主行動計画」**を策定していること

企業へのアプローチ

「ふくい女性活躍推進企業」

登録企業 302 社
（R3.10月）

❶ 県ホームページや県主催合同企業説明会で**登録企業をPR**します！

❷ 女性活躍に関する県主催の**研修・講座に優先参加**できます！

・女性リーダー育成研修「未来きらりプログラム」　・管理職のための女性人材育成セミナー　等

❸ 登録企業限定の**表彰制度**があります！

・ふくい女性活躍推進企業 優良活動表彰［企業部門］［個人・グループ部門］

❹ **オリジナルロゴマーク**を自社の商品や会社案内に使用できます！

❺ （公財）**ふくい女性財団の企業会員**になることができます！

※財団が主催する女性の人材育成に役立つ講座・セミナー等の情報をお届けします

❻ ふくい女性活躍支援センター主催の女性の再就職のための**「企業面接会」に優先参加**できます！

❼ 日本政策金融公庫の**「地域活性化・雇用促進資金」による低利融資**が利用できます！

★以下❽・❾は『プラス＋』登録企業のみのメリットです。

❽ 県制度融資「中小企業育成資金」の**保証料を全額補給**します！

❾ 県が発注する**建設工事の入札参加資格審査で加点評価**が受けられます！

企業へのアプローチ

「ふくい女性活躍推進企業」
企業と県が一緒に女性社員の活躍のための取組みを実施

○「**未来きらりプログラム**」の受講
県とお茶の水女子大学が共同で
実施する女性リーダー育成研修

受講者数

R1	R2	R3		H24～R2 計
40名	45名	42名		263名

未来きらりプログラム

女性リーダーに必要な知識を学ぶ研修プログラム

お茶の水女子大学と共同で作成・実施

企業のリーダー候補生が受講、ネットワークを形成

Ｒ２	企業リーダーコース	（2年間）	３４名
	製造業リーダーコース	（1年間）	１１名

【プログラムの主な内容】

- 女性リーダー論　　・ビジネススキル講座
- ワーク・ライフバランス
- お茶大講座の聴講、ＯＧの企業管理職との交流会
- 仮想課題に対する企画・提案研修
- 女子大学生との交流会（キャリアカフェ）

【成果】　管理職　20名、リーダー　21名　／　のべ128社

企業へのアプローチ

「製造業リーダーコース」を設置（H28～）

<プログラムの概要>

受講期間：　１年間

日　　時：　毎月１回（平日13：00～17：00）

対 象 者：　製造業で働く技術職・技能職の
リーダー候補の女性

※H28：10名、H29：9名、H30：10名、Ｒ元：15名

<プログラムの特徴>

○県内外のリーディングカンパニーの先進事例視察と女性技術者との交流により、**自分の目指すリーダー像を明確化**

○ものづくりの全体像を学ぶことで、**広い視野を身に付け、自分の役割を正しく認識**

○企業リーダーコースとの合同研修により、**様々な業種・職種の女性たちとネットワークづくり**

企業へのアプローチ

「ふくい女性活躍推進企業」
企業と県が一緒に女性社員の活躍のための取組みを実施

○「ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰」

R2新設　企業部門　3社表彰
　　個人部門　9件表彰

企業へのアプローチ

永森建設株式会社（R2ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰）

創　　立　1990年12月
事　　業　注文住宅の設計・施工・監理、リフォーム業、不動産業、不動産管理業、木材業等
従業員数　123名（男78名　女45名）

（取組み例）

- **ライフイベントに合わせた働き方の選択**
  （フルタイム正社員／短時間勤務正社員／パートタイム）
- **子育て期間の柔軟な勤務日・休日調整**
- 毎月「1 on 1 ミーティング」を実施
  女性社員の悩みやキャリアの相談に対応

- 女性設計士・女性営業が多数活躍
- 設計部３つの課すべてのリーダーに女性を抜擢
- 女性社員が主戦力となり、「奥様目線の家づくり」を展開

企業へのアプローチ

ふくい女性活躍推進企業登録のメリット

○オリジナルロゴマークの使用

自社の商品や会社案内、名刺等に使用できる

学生たちにも
認知度ＵＰ！

○採用に係る特典

- 県内大学の就職指導担当者に、女性活躍推進企業として県がＰＲ
- ふくい女性活躍支援センター主催の女性の再就職のための「企業面接会」に優先参加

○その他

- 日本政策金融公庫の「地域活性化・雇用促進資金」による低利融資が利用可能
- 県制度融資「中小企業育成資金」の保証料を全額補給（プラス＋企業）
- 県が発注する建設工事の入札参加資格審査で加点評価（プラス＋企業）

男性の家事・育児参加の促進

トモカジ

「共家事」促進運動

共家事＝**夫婦・家族で一緒に楽しみながら家事を行うこと**
・11月の共家事Weeks（第3日曜日の前後2週間）を中心にキャンペーンを展開
・**男性の主体的な家事参加**を促進

令和元年度主なイベント

〇料理教室において、共家事Cooking講座を開催
　夫婦・ カップルで参加するクッキング講座
　［内容］分担調理できるおいしい料理に夫婦トライ

〇食品スーパーにおいて、夫婦での来店者に共家事グッズをプレゼント
　夫婦・カップルでの買い物を促し、共家事のきっかけづくり
　［内容］夫婦で来店した客にポイントプレゼントと
　　家事分担見える化シート配布

〇家電量販店において、共家事タイムトライアル
　［内容］夫婦で、アイロン掛け道場

令和２年度主なイベント

〇「共家事」促進キャンペーンの実施
　［内容］
　　県内スーパー、ドラックストア、ホームセンター等「共家事促進店」を募集
　　「共家事促進店」において、ポスター、ポップ、リーフレット等を設置
　　共家事Weeks（１１月８日～１１月２２日）に合わせ、リーフレットを利用した
　　抽選キャンペーンを展開

最後に

＜福井県が目指す社会＞　※ 第３次男女共同参画計画（Ｈ29～Ｒ3）

・男女が共に子どもから高齢者まで、互いにその人権を尊重し、家庭・職場・地域でそれぞれの考え方や能力を生かして協力し合い、希望を持って活躍できる社会

・「職業生活」および「家庭生活」において男女がともに幸福を分かち合う社会

次期計画（Ｒ4～Ｒ8）策定コンセプト

○多様なしあわせに寄り添う社会を目指す

特に「女性が暮らしやすい社会」は「みんなが暮らしやすい社会」

○次世代ファースト

福井の良さを次代に継承し、女性や若者から選ばれる福井に